

申し込みからの流れ

申し込み

- 右のQRコードから、もしくは学校ウェブサイト（下記）にアクセスいただき、お申し込みフォームにご入力ください。今回はWebからのお申し込みのみ受け付けます。お申し込みいただいた方には、授業動画の閲覧方法をメールでお知らせいたします。お申し込みの締め切りは1月28日（木）です。
- 授業動画の公開開始は1月30日（土）です。事前に授業動画をご覧いただいてから、2月6日（当日）の研究会にご参加ください。



授業動画の視聴に関するお願ひ

● 動画公開後、各自で授業動画を視聴してください。

動画視聴の際には、以下の行為を行わないようお願いいたします。

- ✓ 動画（音声を含む。以下同様）をダウンロードすること
- ✓ 本校が不正と認める方法で動画にアクセスすること
- ✓ 動画やキャプチャ画像をSNSなどWeb上にアップロードすること
- ✓ 動画を有償無償問わず第三者に譲渡または貸与すること
- ✓ 動画の全部または一部を改変・改編・翻案・翻訳等し、二次的著作物を作成すること
- ✓ その他の不正使用すること

- 必ず研究会当日までに視聴していただくようお願いいたします。（各授業の詳細は内面をご覧ください）授業動画に関するご質問やコメントは、フォームからお送りいただけます。

研究会への参加

研究会はZoomで開催いたします。参加方法は後日メールでお知らせします。当日は08:50より入室可能です。所属とお名前を表示いただきご参加ください。

事後アンケート

研究会開催後にメールでお送りする事後アンケートへのご協力をお願いいたします。

問い合わせ先

大阪教育大学附属天王寺中・高等学校研究部

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88

[TEL] 06-6775-6545・6047 [FAX] 06-6771-2718

[E-mail] kenkyu@tenko-g.oku.ed.jp

[URL] <https://f.osaka-kyoiku.ac.jp/tennoji-j/kenkyu/kenkyukai/>

令和2年度

第67回教育研究会のご案内（2次案内）

令和2年12月吉日

関係者各位

師走の候、皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、本校の教育研究の推進にご理解とご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、令和2年度教育研究会を、オンラインにて下記の通り開催いたします。今年はCOVID-19により学びの形が大きく変わり、学校の存在意義が問われているとさえいわれております。そのような状況のもと、本教育研究会ではICTを活用した学校運営や教育活動に着目し、その可能性と課題を検証いたします。奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

大阪教育大学附属天王寺中学校長

大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎主任 田中 満公子

研究主題

附属天王寺型一貫教育のためのICT機器を活用した 学校運営・教育活動の模索

日程

令和3年
2月6日（土）

時程

全体会
9:00～9:15

教科別分科会 パネルディスカッション
9:20～10:50 11:00～12:30

パネルディスカッションテーマ

先端技術を活用した新たな学びの実現に向けて ～GIGAスクール構想への対応～

コーディネーター

新津 勝二（大阪教育大学・理事）

パネリスト

- 小崎 誠二（奈良県教育委員会、奈良県立教育研究所・主幹）
中島 彩子（大阪府教育庁教育振興室高等学校課・参事）
尾崎 拓郎（大阪教育大学教育協働学科研数情報部門・講師）
井上 広文（大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎・副校長）

後援

大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会（申請中）

主催

大阪教育大学附属天王寺中学校、大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎

参加費無料

教科別分科会

国語

ICTを活用した国語力を育てる授業

数学

数学的活動を通して生きて活用できる数学の力を育み、場面に応じた効果的なICTの活用方法を探求する

理科

学びの自立をめざす授業・評価とICT

英語

考えや気持ちを伝えあう対話的な学びをめざした授業

音楽

対面授業でしか成し得ない、豊かな心を育む音楽教育とは？

国語

ICTを活用した国語力を育てる授業

【中学】

授業者：福西 昌平（中学3年 国語）

授業概要：本授業では、読者からの能動的な行為によって、表示される情報が選択されるよう仕組まれた本（インラクティブブック）の協働製作を行う。インラクティブブックにはどういう活用法があり、どのようなものを作るかという企画からはじめ、出来上がった製作物の展覧会を結びとしたい。ツールはGoogleスライドを使用する予定である。

【高校】

授業者：岩崎 錬（高校2年 現代文）

授業概要：テクストは学習者にどのように享受され、共感や想像を呼び起こすのか。学習者によって異なる「読み」が成立するのは何故なのか。テクストに対する個々の「読み」を、ICTを媒介に教室内で共有することによって、学習者が「読み」の過程を可視化し、「読み」を深める実践を試みる。遠隔授業の実践が求められる今日において、学習者同士が「読み」を共有する対話の過程に、対面で国語の授業に臨む意義や効果が見出せるのかどうか検討していくたい。

指導助言者：住田 勝 教授（大阪教育大学） 司会者：店田 卓郎（本校教諭）

数学

数学的活動を通して生きて活用できる数学の力を育み、場面に応じた効果的なICTの活用方法を探求する

【中学】

授業者：鳥飼 隆正（中学3年 数学）

授業概要：グラフ理論を用いて日常の文脈における諸問題の本質を構造的に捉え、数学的に考えることの楽しさを味わいながら課題解決能力や表現力を養う授業展開をめざす。また、数学授業におけるICT機器の効果的で必然性のある使用場面やその活用方法についても模索する。

【高校】

授業者：松田 混一（高校2年 数学II）

授業概要：多くの人にとって実生活の中で直接的に数学を活用する機会は稀であるが、自分が考えていること・分かっていることを他者に伝える機会はよくある。他者に伝える力は時代や社会が変わっても不変的に肝要である。他者に『分かりやすく』伝えることは、物事の本質・構造を見抜き必要な情報を抜き出すことで可能になると考えている。そのためには論理的思考力の育成が重要であり、その論理的思考力の育成にICTを有効に介在させる方法を探っていく。

指導助言者：柳本 哲 教授（京都教育大学） 司会者：大石 明徳（本校教諭）

理科

学びの自立をめざす授業・評価とICT

【中学】

授業者：堀井 久嗣（中学2年 理科）

授業概要：オンライン授業環境下にも対応した課題設定を行い、生徒に課題を取り組ませることで、科学的に探究する力を養うことをめざす。今回は、化学変化と原子・分子の単元において化学史の視点からのアプローチを考える。

【高校】

授業者：南 勝仁（高校1年 化学基礎）

授業概要：問題解決において「考え方」が重要な能力の一つであり、その要素として「問題発見力」「計算力」「創造力」がある。今回は、化学においてもそのような力を育成するために、化学史のエンスを用いた授業を行う。

指導助言者：仲矢 史雄 教授（大阪教育大学） 司会者：和田 充弘（本校教諭）

英語

考えや気持ちを伝えあう対話的な学びをめざした授業

【中学】

授業者：青木 宏明（中学1年 英語）

授業概要：本授業では、「外国の観光地を紹介する」というテーマのもと、タブレット端末の効果的な活用と、生徒同士による協働を通して、発信力・対話力を育成することをねらいとする。また、生徒自身によるループリック作成により、「相手に伝わりやすいプレゼン発表とは何か」を考えさせ、上記2つの能力育成のゴールを意識して活動に取り組ませたい。

【高校】

授業者：立花 直樹（高校2年 コミュニケーション英語II）

授業概要：考えや気持ちを伝えあうためには、①自分の意見をまとめ、②それを英語で発信し、③互いの意見を受け入れることが必要だと考えられる。担当学年の生徒たちは②を強みとしており、①と③を達成することで考えや気持ちを伝えあうことができるようになるのではないかと仮説を立てた。協働学習を通して他者との関わりを持てるよう、また、聞き手としてのストラテジーを身につけられるような授業をめざす。さらに、①と②を効果的に行うためにICTを適宜活用する。

指導助言者：江利川 春雄 教授（和歌山大学） 司会者：溝端 愛（本校教諭）

音楽

対面授業でしか成し得ない、豊かな心を育む音楽教育とは？

【高校】

授業者：古川 裕介（高校1年 音楽I）

授業概要：本校音楽科では長きにわたって歌唱を中心とした授業を展開し、学校全体の芸術文化の振興を先導する役割を担ってきた。しかしながら、COVID-19の影響で音楽授業においても大きな制限がかかり、今までと同じようにいかず変化が求められている。歌唱以外の分野の創造的な学習の模索も大切ではあるが、今回コロナ禍だからこそあえて歌唱にフォーカスし、歌唱授業の目的と意義・今後のあり方を探るとともに、「表現とは何か？」を改めて問い直す授業を提案したい。

指導助言者：田中 龍三 特任教授（大阪教育大学） 司会者：上野 紗音（附属天王寺小学校教諭）